

## 1998年度事業報告

## 1. 会員数の動向 (1999年3月31日)

会員数合計	4585(昨年より +10)
通常会員	4,056(+4)
一般 A	2,820(+73)
B	937 (-37)
学生 A	227 (-28)
B	72 (-4)
特別会員	184(+1)
個人	49(-1)
団体	135(+2)
団体会員	294(0)
団体 A	125 (+3)
B	169(-3)
賛助会員	43 (+3)
名誉会員	8 (+2)

## 2. 機関誌等の刊行

- (1) 天気 45 巻 4 号～46 巻 3 号 12 冊(951 頁)  
昨年度より 11 ページ増。各号約 4650 部印刷
- (2) 気象集誌 76 巻 2 号～77 巻 1B 号 7 冊(1,336 頁)  
昨年度より 79 ページ増。各号 1900 部印刷
- (3) 気象研究ノート
 

190 号「雪崩」	194 頁	1850 部	印刷
191 号「過去 2000 年間の気候変動とその要因」	170 頁	1850 部	印刷
192 号「GPS 気象学」	220 頁	2150 部	印刷
193 号「つくば域降雨観測実験」	288 頁	1850 部	印刷
- (4) 予稿集
 

春季大会	1500 部	印刷
秋季大会	1500 部	印刷

## 3. 会議等の開催

- (1) 総会 1998 年 5 月 28 日 KKR ホテル東京  
出席者：177 名、委任状：723 名  
計：900 名
  - 1997 年度事業報告・決算報告、  
1998 年度事業計画・予算が承認された。
  - 第 30 期日本気象学会役員選任が承認された  
り「奨励金」を「奨励賞」に改めるための規則の  
改正が承認された。
  - 名誉会員の推薦  
荒川昭夫、小倉義光、笠原 彰、都田菊郎の  
各会員が承認された
- (2) 理事会
 

第 29 期 (第 6 回)	1998 年 5 月 27 日	東京
第 29 期、第 30 期理事・監事合同会議		

- |                |                  |    |
|----------------|------------------|----|
| 第 30 期 (第 1 回) | 1998 年 6 月 18 日  | 東京 |
| 第 30 期 (第 2 回) | 1998 年 10 月 20 日 | 仙台 |
| 第 30 期 (第 3 回) | 1999 年 3 月 25 日  | 東京 |
- (3) 常任理事会
 

第 29 期 (第 16 回)	1 回気象学会事務室
第 30 期 (1～8 回)	8 回 気象学会事務室
  - (4) 評議員会
 

第 29 期 第 2 回	1998 年 6 月 17 日
会場	竹橋安田ビル 四季交楽「然」
第 30 期 第 1 回	1999 年 3 月 25 日
会場	竹橋安田ビル 四季交楽「然」

## 4. 大会及び研究会等

- (1) 春季大会 1998 年 5 月 27～29 日  
会 場：気象庁・KKR ホテル東京  
(担当：気象庁予報部)  
シンポジウム「予測可能性—カスへの挑戦—」
- (2) 秋季大会 1998 年 10 月 20～22 日  
会 場：宮城県民会館・仙台市民会館  
(担当：東北支部)  
シンポジウム「大気と海洋—地球温暖化をめぐる—」
- (3) 研究会、月例会等
  - IGBP/GAIM 研究連絡会
 

東北大	1998 年 10 月 23 日
信州大	1999 年 3 月 29 日
  - 極域・寒冷域研究連絡会
 

東京	1998 年 5 月 29 日
仙台	1998 年 10 月 22 日
  - メソ気象研究連絡会
 

東京	1998 年 5 月 26 日
仙台	1998 年 10 月 19 日
  - シンポジウム「気象学に開かれゆく世界」  
仙台 1998 年 10 月 19 日
  - 第 9 回夏の学校  
福島 1998 年 7 月 18～20 日
  - 第 42 回山の気象シンポジウム  
東京 1998 年 6 月 20 日
  - 長期予報と大気大循環  
東京 1998 年 11 月 9 日
  - レーダー気象  
東京 1999 年 1 月 22 日
- (4) 他学会との共催等
  - 第 35 回理工学における同位元素研究発表会  
1998 年 6 月 29 日～7 月 1 日
  - 第 15 回風工学シンポジウム  
1998 年 12 月 2～4 日
  - 第 45 回風に関するシンポジウム  
1998 年 12 月 22 日
  - 第 12 回数値流体力学シンポジウム

1998年12月21～23日

## ★ 第48回理論応用力学講演会

1999年1月25～27日

## 5. 研究業績の表彰及び研究の奨励

## (1) 研究業績の表彰

## ア 日本気象学会賞

梶川 正弘 秋田大学工学資源学部  
 佐藤 薫 京都大学理学研究科地球物理学教室  
 高菘 緑 国立環境研究所大気圏環境部

## イ 藤原賞

竹内 清秀 財団法人 日本気象協会  
 上平 良三 財団法人 気象業務支援センター

## ウ 山本・正野論文賞

堀之内 武 ワシントン大学

## エ 堀内賞

忠鉢 繁 気象庁気象研究所

## (2) 奨励金受領者

上田 崇裕 小樽測候所  
 金森 恒雄 松江地方気象台  
 (現岡山地方気象台)  
 坪田 幸政 慶応義塾高等学校

## 6. 支部活動

## (1) 北海道支部

ア 研究発表会 (札幌) 1998年6月5日  
 (札幌) 1998年11月19日  
 イ 講演会 (苫小牧) 1998年10月16日  
 (札幌) 1999年3月5日

## (2) 東北支部

ア 支部講演会 (秋田) 1998年11月30日

## (3) 中部支部

ア 総会 (名古屋) 1998年7月23日  
 イ 支部研究会 (金沢) 1998年11月19,20日

## (4) 関西支部

ア 総会・年会 (大阪) 1998年6月16日  
 イ 例会・講演会 (岡山) 1998年11月4日  
 (大航) 1998年11月18日  
 (高知) 1998年11月21日  
 (神戸) 1999年2月16日

## (5) 九州支部

ア 支部講演会 (福岡) 1999年2月16日

## (6) 沖縄支部

ア 防災気象講演会 (宜野湾) 1998年8月1日  
 イ 気象研究会 (石垣) 1998年11月5,6日

## 7. 普及活動

## (1) 第32回夏季大学

1998年8月5～7日

東京大学山上会館(本郷キャンパス内)

「新しい気象学」気象を測る  
 —気象観測の発展と展望—

## (2) 関西支部第20回夏季大学

1998年7月28、29日 大阪市立科学館  
 日本に及ぼす熱帯の気象  
 —台風・エルニーニョ現象・モンスーン—

## (3) 北海道支部第16回夏季大学

1998年7月29、30日  
 第1日目 札幌市青少年科学館  
 第2日目 札幌管区気象台  
 「新しい気象」

## (4) 中部支部 第5回気象講座

1998年8月27日 名古屋  
 —気象災害を防ぐ—

(5) 文部省研究成果公開促進補助金  
による講演会

沖縄支部 1998年11月6日  
 —気候風土からみた八重山の魅力—

## (6) 気象技術講習会

1998年11月～1999年3月(計16回)

## 8. 国際学術交流活動

国際学術研究集会参加補助

## 前期

1) 重 尚一 (メリカ) CLIVAR/GEWEX/COARE98会議  
 2) 高田久美子 (カナダ) 第7回永久凍土国際会議

## 後期

なし

## 9. 電子情報関連

- 文部省学術情報センターによる電子図書館サービスの運用開始
- 学術情報センターによる「学術用語」データベース作成・公開

## 10. その他

- 「地球環境科学関連学会協議会」第2回開催 1998年7月27日
- 第32回宇宙空間科学 COSPAR 会議 平成10年7月11～19日
- 気象学会会員名簿の刊行

収支計算書

1. 収入の部 (1) (円)

1,998 年度

1998年 4月1日～

1999年 3月 31日

勘定科目	予算額 (A)	決算額 (B)	内		差異 (B-A)	達成率 (B/A)	備考
			公益部門	収益部門			
1. 会費収入	41,294,578	41,733,406	41,733,406		438,828	101.1%	
通常会員	31,380,578	31,755,313	31,755,313		374,735	101.2%	前年度前受会費含む
特別会員	1,045,000	1,186,508	1,186,508		141,508	113.5%	同上
団体会員	6,039,000	5,882,740	5,882,740		△156,260	97.4%	
賛助会員	2,830,000	2,908,845	2,908,845		78,845	102.8%	
2. 基本財産運用	885,000	701,090	701,090		△183,910	79.2%	基金、藤原、山本・正野、堀内
一般基金	340,000	259,020	259,020		△80,980	76.2%	
国際交流基金	545,000	442,070	442,070		△102,930	81.1%	
3. 事業収入	34,327,000	41,521,693	16,701,389	24,820,304	7,194,693	121.0%	
天気	5,560,000	8,037,455	413,200	7,624,255	2,477,455	144.6%	(収) 広告料、別刷代
気象集誌	6,390,000	7,799,276	6,127,847	1,671,429	1,409,276	122.1%	(公) 投稿料 (収) 別刷代
気象研究ノート	9,587,000	10,884,800		10,884,800	1,297,800	113.5%	(収) 広告料
予備集	5,930,000	7,023,369	5,585,119	1,438,250	1,093,369	118.4%	春秋大会参加費等
大会開催	2,640,000	3,168,000	3,168,000		528,000	120.0%	夏季大学受講料、テキスト
教育と普及	935,000	972,800	972,800		37,800	104.0%	
書店扱	3,080,000	3,201,570		3,201,570	121,570	103.9%	
業務受託		279,420	279,420		279,420	****	
その他事業収入	205,000	155,003	155,003		△49,997	75.6%	刊行物の直接販売等
4. 補助金収入	5,210,000	5,310,000	5,310,000		100,000	101.9%	
科学研究費	5,210,000	5,310,000	5,310,000		100,000	101.9%	
その他					0	****	
5. 寄付金収入	0	0	0		0	****	
寄付金	0	0	0		0	****	
募金	0	0	0		0	****	
6. 基本財産取崩収入	0	0	0		0	****	
一般基金	0	0	0		0	****	
国際交流基金	0	0	0		0	****	

(社団法人) 日本気象学会

## 収支計算書

勘定科目		1,998年度				1998年4月1日～1999年3月31日		備考	
		予算額 (A)	決算額 (B)	内 公益部門	内 収益部門				
1. 収入の部 (2)									
7. 引当金取崩収入 退職金引当金		0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	**** ****
8. 雑収入									
受取利息		256,000	2,276,534	1,306,332	970,202	2,020,534	889.3%		
著作権複写許可料		106,000	105,421	105,421		△579	99.5%		
印税		100,000	429,763	429,763		329,763	429.8%		
その他雑収入		50,000	970,202	970,202	970,202	920,202	1940.4%		誤納入金等
当期(純)収入合計		81,972,578	91,542,723	771,148	25,790,506	9,570,145	111.7%		
前期繰越収支差額		13,397,556	13,397,556	11,528,486	1,869,070	0	100.0%		
(純)収入合計		95,370,134	104,940,279	77,280,703	27,659,576	9,570,145	110.0%		
収益から公益へ寄付			3,860,000	3,860,000		3,860,000	****		
当期収入合計			95,402,723	69,612,217	25,790,506				
収入合計			108,800,279	81,140,703	27,659,576				
2. 支出の部 (1)									
勘定科目		予算額 (A)	決算額 (B)	内 公益部門	内 収益部門	差異 (B-A)	達成率 (B/A)	備考	
1. 事業費									
天気		57,395,000	58,976,325	45,040,427	13,935,898	1,581,325	102.8%		
印刷製本費		26,522,000	26,151,914	22,202,066	3,949,848	△370,086	98.6%		(収) 広告、別刷経費
編集委員会費		202,560,000	19,987,812	16,090,664	3,897,148	△268,188	98.7%		
通信運搬費		120,000,000	1,200,000	1,200,000		0	100.0%		
気象集誌		506,600,000	4,964,102	4,911,402	52,700	△101,898	98.0%		
印刷製本費		10,942,000	12,015,954	10,778,175	1,237,779	1,073,954	109.8%		(収) 別刷経費
編集委員会費		7,473,000	8,909,016	7,854,732	1,054,284	1,436,016	119.2%		
校正料		1,289,000	649,000	649,000		△640,000	50.3%		
通信運搬費		600,000	701,972	701,972		101,972	117.0%		
		1,580,000	1,755,966	1,572,471	183,495	175,966	111.1%		



会計報告書表

(社団法人) 日本気象学会

収支計算書

勘定科目	1998年度		1998年4月1日～1999年3月31日	備考			
	予算額 (A)	決算額 (B)			差異 (B-A)	達成率 (B/A)	
							内
		公益部門	収益部門				
2. 支出の部 (3)							
2. 管理費	28,289,000	28,130,405	21,407,406	6,722,999	△158,595	99.4%	
人件費	14,337,000	14,472,886	10,854,664	3,618,222	135,886	100.9%	
職員給料	12,531,000	12,530,392	9,397,794	3,132,598	△608	100.0%	常勤職員3名
福利厚生費	449,000	464,174	348,130	116,044	15,174	103.4%	
臨時雇用賃金	1,357,000	1,478,320	1,108,740	369,580	121,320	108.9%	天気書記
退職金	0	0	0	0	0	****	
事務局関連経費	9,277,000	7,207,847	5,530,517	1,677,330	△2,069,153	77.7%	
貸借料	1,572,000	1,619,125	1,214,343	404,782	47,125	103.0%	
光熱水量	150,000	126,508	94,881	31,627	△23,492	84.3%	
消耗品	850,000	732,777	549,582	183,195	△117,223	86.2%	
什器備品	200,000	498,540	498,540	0	298,540	249.3%	パソコン1台
借料	222,000	192,780	144,585	48,195	△29,220	86.8%	
通信運搬費	1,833,000	1,188,018	891,013	297,005	△644,982	64.8%	
印刷製本費	1,100,000	809,025	606,768	202,257	△290,975	73.5%	電話料を含む
旅費交通費	10,000	4,580	3,435	1,145	△5,420	45.8%	
会議費	10,000	7,875	5,906	1,969	△2,125	78.8%	
交際費	30,000	0	0	0	△30,000	0.0%	
手数料	325,000	341,800	256,350	85,450	16,800	105.2%	振込、会費のクレジット利用等
事務委託費	1,780,000	1,357,319	1,017,989	339,330	△422,681	76.3%	会費請求書作成等
諸会費・謝金	325,000	329,500	247,125	82,375	4,500	101.4%	会計士謝金、労働保険協会等
その他	870,000	0	0	0	△870,000	0.0%	

会計報告書表

(社団法人) 日本気象学会

収支計算書

勘定科目	予算額 (A)	決算額 (B)	内		訳	差異 (B-A)	達成率 (B/A)	備考
			公益部門	収益部門				
2. 支出の部 (4)								
パンコン通信	152,000	30,899	23,174	7,725		△121,101	20.3%	
電算機開発管理	550,000	1,144,500	858,375	286,125		594,500	208.1%	
総会・役員会	1,443,000	2,091,433	1,568,574	522,859		648,433	144.9%	
選挙費用	0	0	0	0		0	****	
支部交付金	2,500,000	2,442,950	1,832,212	610,738		△57,050	97.7%	
租税公課	30,000	0	0	0		△30,000	0.0%	
その他管理費	0	739,890	739,890	0		739,890	****	過誤納金返却・郵便料受取人負担保金
3. 基本財産繰入	0	0	0			0	****	
一般基金	0	0	0			0	****	
国際交流基金	0	0	0			0	****	
4. 引当金繰入	622,000	626,539	626,539			4,539	100.7%	
退職金引当金	622,000	626,539	626,539			4,539	100.7%	
5. 予備費	1,000,000	0	0	0		△1,000,000	0.0%	
当期 (純) 支出合計	87,306,000	87,793,269	67,074,372	20,658,897		427,269	100.5%	
当期 (純) 収支差額	△5,333,422	3,809,454	△1,322,155	5,131,609		9,142,876	****	
税引前次期繰越収支差額	8,064,134	17,207,010	10,206,331	7,000,679		9,142,876	213.4%	
法人税等引当金繰入		1,500,000		1,500,000		1,500,000	****	
収益から公益へ寄付		3,860,000		3,860,000		3,860,000	****	
税引後当期支出合計		93,093,269	67,074,372	26,018,897				
次期繰越収支差額		15,707,010	14,066,331	1,640,679				

## 損益計算書

1,998年度 1998年4月1日～ 1999年 3月31日

	1,998年度 1998年4月1日～		1999年
	損失の部 (円)	利益の部 (円)	(円)
事業支出	13,935,898	事業収入	14,086,370
印刷製本費	11,485,746	気象研究ノート収入	10,884,800
原稿料	744,714	書店取扱収入	3,201,570
編集費	536,680		
通信運搬費	1,168,758		
運営基本支出	6,722,999	その他の収入	11,704,136
職員給料	3,132,598	受取利息収入	0
福利厚生費	116,044	別刷収入	2,735,684
臨時雇用賃金	369,580	広告料収入	7,998,250
事務局関連経費	1,677,330	印税収入	970,202
パソコン通信	7,725		
電算機開発管理	286,125		
総会・役員会	522,859		
選挙費用	0		
支部交付金	610,738		
租税公課	0		
その他	0		
期首棚卸	1,966,493	期末棚卸	2,200,412
費用合計	22,625,390	収入合計	27,990,918
当期税引前利益	5,365,528		
法人税等引当金繰出	1,500,000		
公益事業に寄付	3,860,000		
前期繰越金	4,130,298		
当期繰越金	4,135,826		

(繰越金には棚卸資産が含まれる)



(社団法人) 日本気象学会

貸借対照表

1,998年度  
1999年

3月31日

勘定科目	合計	内 訳	
		公益部門	収益部門
I 資産の部	110,072,995	104,285,607	5,787,388
1. 流動資産	51,723,495	46,333,204	5,390,291
現金	210,080	77,423	132,657
普通預金	19,153,176	16,095,954	3,057,222
郵便振替貯金	1,557,278	1,557,278	( )
公社債信託	26,906,949	26,906,949	( )
(小計)	(47,827,483)	(44,637,604)	(3,189,879)
棚卸資産	3,896,012	1,695,600	2,200,412
2. 固定資産	58,349,500	57,952,403	397,097
(1) 基本財産	53,972,955	53,972,955	
貸付信託	22,362,955	22,362,955	
公社債信託	31,610,000	31,610,000	
(2) その他	4,376,545	3,979,448	397,097
金銭信託 (退職引当)	3,040,035	3,040,035	
什器備品	1,336,510	939,413	397,097
II 負債の部	35,160,508	33,611,308	1,549,200
(負債合計)	32,120,473	30,571,273	1,549,200
1. 流動負債	30,011,027	30,011,027	
前受会費	560,246	560,246	
預り金	1,549,200		1,549,200
法人税等引当金			
2. 固定負債	3,040,035	3,040,035	
退職金引当金	3,040,035	3,040,035	
III 正味財産の部	74,912,487	70,674,299	4,238,188
(当期繰越金)	(53,972,955)	(53,972,955)	
(うち基本財産)			
負債および正味財産の合計	110,072,995	104,285,607	5,787,388

会計報告書表

(社団法人) 日本気象学会

正味財産増減計算書

1,998年度

1998年4月1日～ 1999年 3月31日

	II 減少の部		I 増加の部	
	合計	公益部門	合計	公益部門
	(円)		(円)	
資産減少額	8,019,277	2,002,114	42,665,032	35,333,011
基本財産取崩	0	0	3,809,454	△1,322,155
退職金引当金取崩	0	0	0	0
什器備品減価償却費	479,184	288,514	626,539	626,539
期首棚卸額	3,680,093	1,713,600	462,000	462,000
			3,896,012	1,695,600
公益事業へ寄付	3,860,000	3,860,000	30,011,027	30,011,027
負債増加額	32,137,566	30,637,566	3,860,000	3,860,000
退職金引当金繰入	626,539	626,539	0	0
前受会費	30,011,027	30,011,027	0	0
法人税等引当金繰入	1,500,000	1,500,000	0	0
減少額合計	40,156,843	32,639,680	42,665,032	35,333,011
当期正味財産増加額	2,508,189	2,693,331		
(うち基本財産増加額)	(0)	(0)		
前期繰越正味財産額	72,404,298	67,980,968		
(うち基本財産)	(53,972,955)	(53,972,955)		
期末正味財産合計額	74,912,487	70,674,299		
(うち基本財産)	(53,972,955)	(53,972,955)		
資産増加額		6,017,163		7,332,021
当期(純)収支差額				5,131,609
基本財産増加額				
退職金引当金繰入		190,670		0
什器備品増加		1,966,493		2,200,412
期末棚卸額				
前受会費				
収益事業から寄付		3,860,000		3,860,000
負債減少額				0
退職金引当金取崩				0
増加額合計				
		7,517,163		7,332,021
		△185,142		

財産目録

1999年 3月 31日 現在

資産総額 110,072,995 円

種類	預入先	金額(円)	備考
<b>1. 基本財産</b>			
貸付信託	住友信託銀行 日比谷支店	11,750,000	基本金
	〃	6,500,000	山本・正野論文賞
	〃	1,600,000	藤原賞
	〃	600,000	堀内基金
	三井信託銀行 本店	1,912,955	藤原賞
公社債信託	野村証券 銀座支店	25,960,000	国際学術交流基金
	パートナーズ投資信託	5,650,000	堀内基金
	合計	53,972,955	
<b>2. その他の固定資産</b>			
金銭信託	住友信託銀行 日比谷支店	3,040,035	退職給与引当金
什器備品		1,336,510	
	合計	4,376,545	
<b>3. 流動資産</b>			
現金	手元保管	210,080	
普通預金	第一勧業銀行 大手町支店	19,153,176	
郵便振替預金	中央郵便局	1,557,278	
公社債信託	野村証券 東京支店	13,447,568	
	日興証券 新丸ビル支店	13,459,381	
期末在庫高		3,896,012	
	合計	51,723,495	

計算書類に対する注記

1999年3月 31日

1. 重要な会計方針

- 1) 有価証券の評価基準及び評価方法、... 総平均法による原価基準を採用している。
- 2) 固定資産の減価償却、... 什器備品は、定率法による減価償却を実施している。
- 3) 引当金の計上基準、... 退職給与引当金は、期末退職給与の要求額に相当する金額を計上している。
- 4) 資金の範囲、... 現金預金、預り金及び前受金を含めることとしている。  
なお当期末残高は、2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額の内容は次の通りである。

科目	当期末残高	公益部門	収益部門
現金	210,080	77,423	132,657
普通預金	19,153,176	16,095,954	3,057,222
郵便振替貯金	1,557,278	1,557,278	0
公社債信託	26,906,949	26,906,949	0
(合計)	(47,827,483)	(44,637,604)	(3,189,879)
前受会費	30,011,027	30,011,027	
預り金	560,246	560,246	
法人税等引当金	1,549,200		1,549,200
次期繰越収支差額	15,707,010	14,086,331	1,640,679

3. 基本財産の増減及びその残高は次のとおりである。

科目	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本金	0	0	11,750,000
藤原賞	0	0	3,512,955
山本・正野論文賞	0	0	6,500,000
国際学術交流基金	0	0	25,960,000
堀内賞	0	0	6,250,000
合計	0	0	53,972,955

4. 固定資産の取得価格、減価償却累計額、及び当期末残高は次のとおりである。

科目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	8,926,560	7,590,050	1,336,510
合計	8,926,560	7,590,050	1,336,510

## 部門別収支の集計(決算)

1,998年度

1998年 4月 1日より

1999年 3月 31日まで

公益事業 部門	純収入 (A)	純支出 (B)	純収支差額 (A-B)	管理費分担 (C)	利益 (A-B-C)
天気	31,413,764	22,202,066	9,211,698	10,227,597	△1,015,899
気象集誌	22,170,689	10,778,175	11,392,514	7,218,265	4,174,249
大会・予稿集	8,753,119	7,704,629	1,048,490	2,849,814	△1,801,324
教育と普及	972,800	1,298,720	△325,920	316,721	△642,641
表彰・奨励	259,020	2,223,227	△1,964,207	84,331	△2,048,538
国際学術交流	442,070	618,850	△176,780	143,928	△320,708
受託業務	279,420	0	279,420	90,973	188,447
その他事業	155,003	214,760	△59,757	50,465	△110,222
雑収入・予備費	1,306,332	0	1,306,332	425,312	881,020
退職金	0	626,539	△626,539	0	△626,539
合計	65,752,217	45,666,966	20,085,251	21,407,406	△1,322,155

純収入＝各部門の公益事業分収入  
 純支出＝各部門の公益事業分支出  
 純収支差額＝純収入－純支出  
 管理費分担＝管理費の公益事業分分担  
 (純収入に比例して分担)  
 利益＝純収入－純支出－管理費分担  
 ＝純収支差額－管理費分担

収益事業 部門	純収入 (A)	純支出 (B)	純収支差額 (A-B)	管理費分担 (C)	利益 (A-B-C)
天気	7,624,255	3,949,848	3,674,407	1,987,470	1,686,937
気象集誌	1,671,429	1,237,779	433,650	435,704	△2,054
気象研究ノート	10,884,800	8,619,618	2,265,182	2,837,420	△572,238
予稿集	1,438,250	128,653	1,309,597	374,919	934,678
書店等・予備費	4,171,772	0	4,171,772	1,087,486	3,084,286
合計	25,790,506	13,935,898	11,854,608	6,722,999	5,131,609

純収入＝各部門の収益事業分収入  
 純支出＝各部門の収益事業分支出  
 純収支差額＝純収入－純支出  
 管理費分担＝管理費の収益事業分分担  
 (純収入に比例して分担)  
 利益＝純収入－純支出－管理費分担  
 ＝純収支差額－管理費分担

## 1998 年度社団法人日本気象学会監査報告

1998 年度社団法人日本気象学会の財産及び業務執行の状況を次のとおり報告する。

## 1. 監査月日

1999 年 4 月 8 日

## 2. 監査場所

東京都千代田区大手町 1-3-4 気象庁内  
日本気象学会事務局

## 3. 監査帳簿

- (1) 1998 年度会計監査受験調書
- (2) 総勘定元帳
- (3) 財産目録
- (4) 現金出納帳
- (5) 預貯金出納帳
- (6) 備品台帳
- (7) 領収書類
- (8) 預金証書および普通預金通帳
- (9) 郵便振替受払通知票
- (10) 現金受領簿
- (11) 小切手帳および小切手受払簿
- (12) 1998 年度事業報告書

## 4. 監査内容

- (1) 1998 年度収支計算書およびその他の計算書について、その経理状況を監査すると共に財政状況を調べた。
- (2) 上記の帳簿類について照合を行うと共に出納状況記載事項の監査を実施した。
- (3) 学会の運営状況を聴取し意見を述べた。

## 5. 監査意見

1998 年度(1998 年 4 月 1 日から 1999 年 3 月 31 日まで)の会計に関する帳簿類は、照合の結果、正確であり、収支計算書その他の計算書は正しいと認める。

会費の納入状況は昨年度に引き続き順調に推移している。事業収入では投稿料、広告料、気象研究ノートなどの収入が大幅に増え、支出は予算通りであったため、単年度収支では約 380 万円の黒字となった。今後もこの傾向が続くことを望む。

2001 年度からはペイオフが実施される。基本財産、流動資産の分散化を進めていく必要がある。

会計業務は年々規模が拡大しており、事務局における会計業務の効率化と責任分散体制の構築を図る必要が有る。パソコンによる会計システムの導入の検討を行うことや、事務機器の更新を適宜行い効率的な事務環境を維持するよう、更新に関する基準を明確にすることが望ましい。

会員数については A 会員は増加しているが、B 会員は 40 名減少した。B 会員の減少傾向はここ数年続いており、それに歯止めがかかっていない。抜本的な対策を検討する必要がある。

大会は参加者数・発表数が増加傾向が続き、ポスターセッションの拡充、分科会方式の導入が行われるなど大会が活性化している。

気象学の普及と教育について、29 期、30 期の評議員会で幅広い分野の委員の方から意見を頂くなど、積極的の取り組みでいこうとしている。昨年秋に「気象予報士」を対象とした「気象技術講習会」が気象業務支援センターと共同で開催されることとなったことは特筆に価する。

「天気」、「気象集誌」の発刊は順調である。「気象研究ノート」が久しぶりに年間 4 号刊行された。しかし、最近、4 号発行された年はほとんどなく予算と決算の差がいつも大きい。実態に見合った発行計画に改めるか、編集方針を見直して発行数増加を目指すなどの抜本的な対策が必要である。

1998 年度は名簿の発行を 4 年ぶりに行ったが、名簿作成のためのアンケートの回収率が 3 分の 1 しかなく不完全なものとなり、発行予定も大幅に遅れた。問題点の反省が必要である。

気象学会ではインターネットへの取り組みを積極的に行っている。今後もその充実を期待する。

この 1 年間、さまざまな課題に取り組んでこられた理事、各委員会委員、事務局員の努力に敬意を表する。

1999 年 4 月 8 日

監事

中村



監事

徳野正己



## 1999 年度日本気象学会総会議案

日本気象学会第 30 期理事会

1999 年 4 月 27 日

## ◎総会定足数に関する定款の改訂

## 背景

文部省より通知があり、社団法人の設立許可の運用指針の内容に基づき、学会の総会定足数を規定している定款第 38 条を見直すようにとの指示があった。

その趣旨は、「社団法人の総会に、社員の多数の意思が適正に反映されるように、その成立要件及び議決要件等を定め」、「かりに社員が多数または全国的に散在するなど社員全員が出席しての総会が事実上困難な場合においても、出席できない社員の意思が正当に反映されるような措置をとる必要がある」ということで、会員を集めるに当たり困難な理由があっても例外は認められないとの判断が示されている。

以上の指示を受けて、理事会は、日本気象学会が標記の運用指針に沿って社団法人に相応しい活動をするのが適当と判断し、下記の通り定款の改訂を提案する。

## 改訂の骨子

第 38 条の「5 分の 1」を「過半数」に改訂する。これにより、会員の意思がより強く反映されることになるので、「25 分の 1」に関する規定は削除する。なお、文部省の指導内容および他の社団法人諸学会の定款にもこの規定はない。

## 現行

第 38 条 総会は、通常会員現在総数の 5 分の 1 以上の出席がなければ成立しない。ただし、総会に出席できない通常会員で、当該議事につき他の出席通常会員に表決を委任した者、および書面によって決議に参加した者は出席とみなす。

前項の場合、委任状および書面によらないで出席する通常会員は、通常会員現在数の 25 分の 1 以上でなければならない。

(昭 33.10.16 一部改正)

## 改訂案

第 38 条 総会は、通常会員現在総数の 過半数 以上の出席がなければ成立しない。ただし、総会に出席できない通常会員で、当該議事につき他の出席通常会員に表決を委任した者、および書面によって決議に参加した者は出席とみなす。

(平 11. 4.27 一部改正)

## ◎理事の辞任に伴う後任の推薦について

日本気象学会第30期の理事から理事を辞任したいとの申し出が理事長に対して提出され、日本気象学会定款第21条の規定に従って理事会として1999年4月27日付で解任することとしました。また後任の理事候補としては、日本気象学会細則第6条第11項の規定により、理事会の議をへて、各所属地区から推薦することにいたしました。

総会で審議していただくようお願いいたします。

なお、今回辞任された理事と、後任理事候補者の推薦は以下の通りです。(敬称略)

辞任理事：竹村行雄常任理事(全国地区推薦)  
 城尾泰彦常任理事(全国地区推薦)  
 古川武彦理事(北海道地区選出)  
 高橋昭理事(関西地区選出)  
 由良武理事(九州地区選出)

## 後任理事候補者：

全国区 2名

候補者名：澤井 哲滋会員

所 属：気象庁予報部予報課

生年月日：1947年7月6日

推薦理由：澤井会員は、気象研究所において北海道東部の霧の特別観測に参加するなど、霧の発生機構の解明とその可能性の追求に取り組んできた。また、気象庁の予報関連業務や、気象大学の大学部学生と地方の気象官署からの研修生に対する教育にも携わってきた。この間、学会の大会やシンポジウムにおいて研究成果の発表に努め、学会活動に貢献をしてきている。

こうした経験を踏まえ、活動において力を発揮してもらえると期待する。

候補者名：上窪 哲郎会員

所 属：気象庁観測部観測課

生年月日：1959年2月14日

推薦理由：上窪会員は、現在気象庁観測部観測課に所属しているが、これまで経験した業務から得られた、地上気象をはじめとする各種の気象観測についての幅広い知識を有している。また、予算事務などの経験も豊富で、これらの能力を学会活動にも生かして頂けることが期待できる。

北海道地区 1名

候補者名：巽 保夫会員

所 属：気象庁札幌管区気象台

生年月日：1943年12月23日

推薦理由：巽会員は長く数値予報課で数値予報モデルの開発と予報制度の向上に努力してきた。局地スペクトルモデルの開発により、メソスケールの数値シミュレーションの進歩に寄与した功績が認められ、1990年度の日本気象学会賞を受賞した。

「天気」の編集委員を10年近くにわたり務めたほか、九州支部の常任理事や「学会賞」候補者推薦委員を務め、日本気象学会の運営と活動に貢献した。これらの幅広い経験をもつ巽会員は、日本気象学会の発展のために活躍して頂けることが期待される。

関西地区 1名

候補者名：古賀 晴成会員

所 属：気象庁大阪管区気象台

生年月日：1940年6月29日

推薦理由：古賀会員は、これまで数値予報及



び気候変動関連の業務に従事し、この分野の動向や研究に関する広い経験を有している。また、海洋気象や航空気象関連の業務にも従事しており、これらの豊富な経験を活かし、幅広い視点から学会の活動に貢献して頂けることが期待される。

九州地区 1名

候補者名：長坂 昂一会員

所 属：気象庁福岡管区気象台

生年月日：1945年2月8日

推薦理由：長坂会員は、現在福岡管区気象台長の任にあるが、気象・海洋に関する業務の豊かな経験を生かし、九州支部の学会活動を一層発展させて頂けるものと期待する。また、海洋分野を専門とする長坂会員は、30数年前から会員として、気象や気候と海洋の関連に着目してこられ、その視点が重要になりつつある状況において、この方面での活動にも経験と知識を生かして学会に貢献して頂けるものと期待する。

## 1999年度事業計画(案)

### 1. 機関誌等の刊行

- (1) 天気 46巻4号～47巻3号
- (2) 気象集誌 77巻2号～78巻1号
- (3) 気象研究ノート 194号～197号
- (4) 大会予稿集  
春季大会 75号 秋季大会 76号

(担当：九州支部)

シンポジウム 11月25日(木)

題名：未定

### (3) 研究会、月例会等

- ・ IGBP / GAIM研究会
- ・ 極域・寒冷域研究連絡会
- ・ メソ気象研究会
- ・ オゾン研究連絡会
- ・ 大気海洋陸面相互作用研究会
- ・ 山の気象シンポジウム
- ・ 長期予報と大気大循環
- ・ レーダー気象

### 2. 会議等の開催

- 通常総会 1999年度総会 (4月27日)
- 理事会 3回 (4月、11月、3月)
- 常任理事会 11回
- 評議員会 1回
- 監事会 1回 (4月)

### 3. 各委員会等の活動

- 天気編集委員会
- 気象集誌編集委員会
- 気象研究ノート編集委員会
- 総合計画委員会
- 講演企画委員会
- 教育と普及委員会
- 学会賞候補者推薦委員会等
- 国際学術交流委員会
- 電子情報委員会
- 用語検討委員会

### 4. 大会及び研究会等

- (1) 春季大会 1999年4月26～28日  
東京都：気象庁・KKR ホテル TOKYO  
(担当：気象庁観測部・気象大学校)  
学会賞・藤原賞受賞記念講演  
4月27日(火)
- (2) 秋季大会 1999年11月24～26日  
福岡市：アクロス福岡

### 5. 研究業績の表彰及び研究の奨励

- ・ 日本気象学会賞
- ・ 藤原賞
- ・ 山本・正野論文賞
- ・ 堀内賞
- ・ 奨励賞

### 6. 支部活動

#### (1) 各支部研究発表会

#### (2) 気象講演会

##### 1) 北海道支部

期 日：1999年10月16日(予定)

題 目：北見周辺の気象と自然災害

##### 2) 東北支部

期 日：1999年8月5日

題 目：岩手の気象災害軽減を  
目指して

##### 3) 九州支部

期 日：2000年2月(予定)

題 目：未定

## 4) 沖縄支部

期 日：1999 年 8 月予定

題 目：防災気象講演会題目未定

(2) 学会ホームページ管理運営

(3) 気象データの有効利用

## 7. 普及活動

## (1) 第 33 回夏季大学

期 日：1999 年 8 月 2～4 日

題 目：台風の理解はどこまで  
進んだか

## (2) 北海道支部第 17 回夏季大学

期 日：1999 年 7 月下旬 (2 日間)

題 目：新しい気象学

## (3) 中部支部 第 6 回気象講座

期 日：1999 年 8 月予定

題 目：未定

## (4) 関西支部第 21 回夏季大学

期 日：1999 年 7 月 27, 28 日

題 目：大雨と災害

## (5) 気象技術講習会

## 11. 第 31 期役員選挙

告 示：1999 年 12 月「天気」誌上

候補締切：2000 年 1 月末

投 票：2000 年 3 月上旬

選 任：2000 年 5 月通常総会

## 12. 事務局の構成

事務局長 島津 成之

松野 光雄

館 英男

## 8. 対外活動

(1) 地球環境科学関連学会協議会参加

(2) 地球惑星科学関連学会合同大会

セッション共催

(3) 国際シンポジウム 2000 年国内組織委

員会参加

(4) IUGG2003 年大会準備参加

## 9. 国際学術交流活動

気象学における国際的な発展及び交流  
を図るための、国際交流事業への支援を  
行う

## 10. 電子情報関連

(1) 学術情報センター電子図書館サービス  
への対応

## 会計報告書表

1999年4月1日より  
2000年3月31日まで

## 収支予算書(案)

1,999年度

(社団法人) 日本気象学会

## 1. 収入の部 (1) (円)

勘定科目	98年度 予算(A)	98年度 決算	99年度 予算(B)	内		増減 (B)-(A)	備考
				公益部門	収益部門		
1. 会費収入							
通常会員	41,294,578	41,733,406	40,815,000	40,815,000		△479,578	
特別会員	31,380,578	31,755,313	31,040,000	31,040,000		△340,578	
団体会員	1,045,000	1,186,508	723,000	723,000		△322,000	
賛助会員	6,039,000	5,882,740	6,102,000	6,102,000		63,000	
基本財産運用 一般基金	2,830,000	2,908,845	2,950,000	2,950,000		120,000	
国際交流基金	885,000	701,090	705,000	705,000		△180,000	
事業収入	340,000	259,020	292,000	292,000		△48,000	
天気	545,000	442,070	413,000	413,000		△132,000	
気象集誌	34,327,000	41,521,693	39,285,000	14,861,000	24,424,000	4,958,000	投稿料、別刷代、広告料
気象研究ノート	5,560,000	8,037,455	6,985,000	200,000	6,785,000	1,425,000	投稿料、別刷代
予稿集	6,390,000	7,799,276	7,020,000	5,250,000	1,770,000	630,000	投稿料、別刷代
大会開催	9,587,000	10,884,800	11,885,000		11,885,000	2,298,000	4冊 (193-196)
教育と普及	5,930,000	7,023,369	6,230,000	5,240,000	990,000	300,000	
書店扱	2,640,000	3,168,000	3,080,000	3,080,000		440,000	大会参加費
業務受託	935,000	972,800	886,000	886,000		△49,000	夏季大学受講料とテキスト
その他事業収入	3,080,000	3,201,570	2,994,000		2,994,000	△86,000	
補助金収入	0	279,420	0	0	0	0	
科学研究費	205,000	155,003	205,000	205,000	0	0	他の刊行物等
その他	5,210,000	5,310,000	5,310,000	5,310,000		100,000	
寄付金収入	5,210,000	5,310,000	5,310,000	5,310,000		100,000	
寄付金	0	0	0	0		0	
募金	0	0	0	0		0	
基本財産取崩収入	0	0	0	0		0	
一般基金	0	0	0	0		0	
国際交流基金	0	0	0	0		0	

会計報告書表

1999年 4月 1日より  
2000年 3月 31日まで

1,999年度

収支予算書(案)

(社団法人) 日本気象学会

1. 収入の部 (2) (円)

勘定科目	98年度 予算(A)	98年度 決算	99年度 予算(B)	内		増減 (B)-(A)	備考
				公益部門	収益部門		
7. 引当金取崩収入	0	0	0	0	0	0	
退職金引当金	0	0	0	0	0	0	
8. 雑収入	256,000	2,276,534	254,000	204,000	50,000	△2,000	引当金、運用財産
受取利息	106,000	105,421	104,000	104,000		0	
著作権複写許可料	100,000	429,763	100,000	100,000		0	
印税	50,000	970,202	50,000		50,000	0	
その他	0	771,148	0	0	0	0	
当期収入合計	81,972,578	91,542,723	86,369,000	61,895,000	24,474,000	4,396,422	
前期繰越収支差額	13,397,556	13,397,556	15,707,010	14,066,331	1,640,679	2,309,454	
収入合計	95,370,134	104,940,279	102,076,010	75,961,331	26,114,679	6,705,876	

2. 支出の部 (1) (円)

勘定科目	98年度 予算(A)	98年度 決算	99年度 予算(B)	内		増減 (B)-(A)	備考
				公益部門	収益部門		
1. 事業費	57,395,000	58,976,325	60,386,000	46,413,000	13,973,000	2,991,000	
天気	26,522,000	26,151,914	26,798,000	23,044,000	3,754,000	276,000	
印刷製本費	20,256,000	19,987,812	20,256,000	16,576,000	3,680,000	0	
編集委員会費	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000		0	
通信運搬費	5,066,000	4,964,102	5,342,000	5,268,000	74,000	276,000	
気象集誌	10,942,000	12,015,954	11,794,000	10,424,000	1,370,000	852,000	
印刷製本費	7,473,000	8,909,016	8,150,000	7,050,000	1,100,000	677,000	
編集委員会費	1,289,000	649,000	1,289,000	1,289,000		0	
校正料	600,000	701,972	600,000	600,000		0	
通信運搬費	1,580,000	1,755,966	1,755,000	1,485,000	270,000	175,000	

会計報告書表

1999年度 1999年4月1日より  
2000年3月31日まで

収支予算書(案)

(社団法人) 日本気象学会

2. 支出の部 (2) (円)

勘定科目	98年度 予算(A)	98年度 決算	99年度 予算(B)	内		増減 (B)-(A)	備考
				公益部門	取 益部門		
気象研究ノート	6,249,000	8,619,618	8,793,000		8,793,000	2,544,000	194号から197号を発行予定
印刷製本費	3,952,000	6,405,661	6,400,000		6,400,000	2,448,000	
編集委員会費	613,000	536,680	613,000		613,000	0	
原稿料	840,000	744,714	840,000		840,000	0	
通信運搬費	844,000	932,563	940,000		940,000	96,000	
予稿集	2,412,000	2,384,164	2,412,000	2,356,000	56,000	0	
印刷製本費	1,672,000	1,615,559	1,672,000	1,616,000	56,000	0	
通信運搬費	740,000	768,605	740,000	740,000	0	0	
大会開催	5,650,000	5,449,118	4,900,000	4,900,000		△750,000	
春秋大会	5,100,000	4,843,968	4,500,000	4,500,000		△600,000	本部からの補助金
その他会合	400,000	455,150	250,000	250,000		△150,000	地球環境科学関連学会協議会他
講演企画委	150,000	150,000	150,000	150,000		0	若手会補助を含む
教育と普及	1,305,000	1,298,720	1,369,000	1,369,000		64,000	
委員会	150,000	150,000	150,000	150,000		0	
夏季大学開催	369,000	345,160	369,000	369,000		0	会場費、設営費、印刷費
支部夏季大学補助	250,000	250,000	300,000	300,000		50,000	支部開催の夏季大学を補助
夏季大学テキスト	536,000	533,560	550,000	550,000		14,000	(北海道、関西、中部)
表彰・奨励	2,745,000	2,223,227	2,750,000	2,750,000		5,000	
賞金	910,000	910,000	1,000,000	1,000,000		90,000	
委員会	165,000	342,537	310,000	310,000		145,000	
雑費	1,670,000	970,690	1,440,000	1,440,000		△230,000	受賞者旅費、メダル作成
国際学術交流	1,320,000	618,850	1,320,000	1,320,000		0	
参加旅費補助	1,100,000	200,000	1,100,000	1,100,000		0	
交流事業	200,000	400,000	200,000	200,000		0	
委員会費	20,000	18,850	20,000	20,000		0	
研究連絡会	250,000	214,760	250,000	250,000		0	
受託業務費	0	0	0	0		0	極域、オゾン、メソ、陸面大気海洋、
その他事業費	0	0	0	0		0	GAIM

(社団法人) 日本気象学会

収支予算書(案)

会計報告書表

1,999年度 1999年4月1日より

3月31日まで

2. 支出の部 (3) (円)

勘定科目	98年度 予算(A)	98年度 決算	99年度 予算(B)	内		増減 (B)-(A)	備考
				公益部門	収益部門		
2. 管理費	28,289,000	28,130,405	27,237,000	20,485,250	6,751,750	△1,052,000	収益収入比率 25.00%
人件費	14,337,000	14,472,886	14,365,000	10,773,750	3,591,250	28,000	
職員給料	12,531,000	12,530,392	12,623,000	9,467,250	3,155,750	92,000	
福利厚生費	449,000	464,174	474,000	355,500	118,500	25,000	
臨時雇用賃金	1,357,000	1,478,320	1,268,000	951,000	317,000	△89,000	
退職金	0	0	0	0	0	0	
事務局関連経費	9,277,000	7,207,847	7,389,000	5,591,750	1,797,250	△1,888,000	施設保守維持分担金を含む
賃借料	1,572,000	1,619,125	1,603,000	1,202,250	400,750	31,000	
光熱水料	150,000	126,508	150,000	112,500	37,500	0	
消耗品	850,000	732,777	850,000	637,500	212,500	0	
什器備品	200,000	498,540	200,000	200,000	0	0	事務器、計算機、その他
借料	222,000	192,780	258,000	193,500	64,500	36,000	複写機レンタル料
通信運搬費	1,833,000	1,188,018	1,453,000	1,089,750	363,250	△380,000	郵便、電話、宅急便
印刷製本費	1,100,000	809,025	1,100,000	825,000	275,000	0	封筒、雑誌製本、総会資料
旅費交通費	10,000	4,580	10,000	7,500	2,500	0	
会議費	10,000	7,875	10,000	7,500	2,500	0	
慶弔費・交際費	30,000	0	30,000	22,500	7,500	0	
手致料	325,000	341,800	325,000	243,750	81,250	0	振込手数料など
事務委託費	1,780,000	1,357,319	350,000	262,500	87,500	△1,430,000	会費請求書作成
諸会費・謝金	325,000	329,500	330,000	247,500	82,500	5,000	会計士、学術協力財団賛助会費等
その他	870,000	0	720,000	540,000	180,000	△150,000	会員名簿印刷、その他

(社団法人) 日本気象学会  
 収支予算書(案)  
 会計報告書表  
 1999年4月1日より  
 2000年3月31日まで

2. 支出の部 (4)	98年度 予算(A)	98年度 決算	99年度 予算(B)	内		増減 (B)-(A)	備考
				公益部門	収益部門		
勘定科目							
電子情報	152,000	30,899	188,000	141,000	47,000	36,000	OCNサービス料、電子情報委員会費 会員データベース他
電算機開発管理	550,000	1,144,500	250,000	187,500	62,500	△300,000	
総会・役員会	1,443,000	2,091,433	1,847,000	1,385,250	461,750	404,000	
選挙費用	0	0	668,000	501,000	167,000	668,000	
支部交付金	2,500,000	2,442,950	2,500,000	1,875,000	625,000	0	
租税公課	30,000	0	30,000	30,000	0	0	
その他	0	739,890	0	0	0	0	返却金等
3. 基本財産繰入	0	0	0	0		0	
一般基金	0	0	0	0		0	
国際交流基金	0	0	0	0		0	
4. 引当金繰入	622,000	626,539	620,000	620,000		△2,000	
退職引当金	622,000	626,539	620,000	620,000		△2,000	
5. 予備費	1,000,000	0	1,000,000	750,000	250,000	0	
当期支出合計	87,306,000	87,733,269	89,243,000	68,268,250	20,974,750	1,937,000	
当期(純)収支差額	△5,333,422	3,809,454	△2,874,000	△6,373,250	3,499,250	2,459,422	
税引前次期繰越収支差額	8,064,134	17,207,010	12,833,010	7,693,081	5,139,929	4,768,876	